



平成 27 年 4 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
 代表者名 代表取締役社長 藤井 修逸
 (コード番号 6668 東証第二部)
 問合せ先 常務取締役 中山 浩之
 総務・経理部長
 (TEL. 084-945-1359)

第 2 四半期（累計）業績予想と実績値との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年8月期第2四半期累計期間（平成26年9月1日～平成27年2月28日）の業績について、平成26年10月10日に公表しました業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、平成26年10月10日に公表しました平成27年8月期通期（平成26年9月1日～平成27年8月31日）の業績予想について、最近の業績の動向等を踏まえ、修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 8 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績値の差異 （平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,881	204	221	100	11.71
実績値 (B)	2,905	267	348	208	24.26
増減額 (B - A)	24	63	127	108	
増減率 (%)	0.8	30.9	57.5	108.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 8 月期第 2 四半期)	2,092	85	108	62	7.29

2. 平成 27 年 8 月期通期連結業績予想の修正（平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,722	460	494	291	33.94
今回修正予想 (B)	5,758	467	558	329	38.33
増減額 (B - A)	36	7	64	38	
増減率 (%)	0.6	1.5	13.0	13.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 8 月期)	5,347	355	399	249	29.10

(注)当社は、平成26年12月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期（当期）純利益を算定しております。

3. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間

当第2四半期連結累計期間におきましては、半導体・液晶関連事業におけるスマートフォンやタブレット端末の需要が好調に推移し、タッチパネルディスプレイ向けの成膜装置メーカーの設備投資が堅調に行われた結果、売上高は堅調に推移いたしました。

利益面といたしましては、海外子会社（ベトナム・韓国）への生産移管を進めてきたことにより、売上総利益の改善効果が徐々に出てきております。

また、本日（平成27年4月10日）公表いたしました「営業外収益の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、為替相場が円安に推移したことに伴い、為替差益を計上しております。

業績の詳細につきましては、本日（平成27年4月10日）公表いたしました「平成27年8月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

(2) 通期

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績及び市場動向等を勘案し、下期計画を見直した結果、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

半導体・液晶関連事業におきましては、スマートフォンやタブレット端末等の需要が引き続き堅調に推移するものと見込んでおり、コスト競争力の更なる強化のため、海外子会社（ベトナム・韓国）における生産品目の拡大を進めてまいります。

研究機関・大学関連事業につきましては、加速器用電源及び粒子線がん治療装置用電源の出荷は堅調に推移する見込みですが、新本社及び工場への移転及び旧工場においての生産を継続していることに伴う固定費の増加等により、利益面におきましては低調に推移する見通しであります。

上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上